

八代清流高等学校 平成30年度学校評価計画表

1 学校教育目標
<p>生徒の無限の可能性を引き出すのは我々教師であり、妥協することなく徹底した指導を根気よく続けることが大事である。高校生活3年間は人生の最も基礎・基本となることを我々教師は知っている。生徒一人ひとりの財産づくりを支援していくことに全力を挙げ、次に示す人間の育成を目指す。</p> <p>(1) 豊かな人間性を持ち、「自律」した判断・行動ができる次代を担う人間 (2) 目標を高く掲げ、常に「進取」の気概をもって挑戦し、創造への意欲を燃やす人間 (3) 文武両道を目指し、心身を「錬磨」することにより、活力に満ちた逞しい人間</p>

2 本年度の重点目標
<p>(1) 感動ある教育を展開し、地域の進学等希望者の夢を地域で叶える学校を目指す。 (2) スポーツが盛んで、文化の香りのする学校を目指す。 (3) 生徒・保護者・地域住民に信頼され、愛される学校を目指す。</p>

3 自己評価総括表				
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策
大項目	小項目			
学校 経営	今後の学校経営の方向性の具体化	大学入試改革プロジェクトチームによる提言と実践	大学入試改革、次期学習指導要領改訂に対応できる組織作りと授業実践	プロジェクトリーダーを中心に、教務主任、進路指導主事、教科代表から成るプロジェクトチームが提言し、研修を行い、全教員が授業改善に取り組む。
	安全な学校づくり	安全管理の徹底と整備	日常にひそむ危険箇所の把握と早期対応	危険箇所があることを前提とした安全点検を年に2回実施し、危険箇所の発見、周知、改善を行う。
		危機管理意識の向上	危機管理マニュアルによる意識の共有化	実践的な防火防災訓練の実施と改善、生徒への緊急対応（処置）の周知徹底を図る。
	八代清流高校の評価向上	八代清流高校の周知	P R 方法の工夫及び本校の取組の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・八代管内等の中学校に担当者をつけ、中学校との連携を強化する。 ・HPの即時更新。
進学重視型単位制の周知		進学重視型単位制の特徴やメリットをP R	<ul style="list-style-type: none"> ・まず職員が単位制や本校のシステムを理解する。 ・説明資料の見直し。 	

学力向上	わかる授業の推進	職員の授業力の向上	授業評価システムの再構築と授業力向上を目指した公開（研究）授業の実践	「公開（研究）授業→合評会及び教科会（課題の共有）→授業評価→実践」のサイクルによる授業評価システムを再構築するとともに、指導主事等を活用した研究授業を実施する。
	自学自習できる生徒の育成	生徒の自主的な家庭学習への取組	生徒の家庭学習時間を増やすための工夫と、家庭学習のやり方の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の家庭学習時間調査結果をもとに各教科で家庭学習習慣の定着のための方策を検討する。 ・面談週間や家庭訪問等で、学習の仕方をアドバイスする。
キャリア教育（進路指導）	進路意識の高揚	生徒の進路意識の改革	個に応じた進路実現と四年制大学への進学希望者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部単位制係と連携し、年6回程度行う面談の充実と1年次からの体系的な進路指導に努める。 ・スタディサプリの活用
		望ましい職業観・勤労観の育成	高大連携出張講座やインターンシップへの積極的な参加及び資格取得、検定への挑戦の促進	総合的な学習の時間（「プロメ・プラン」）、2年次のキャリアプランニング活動、大学訪問の充実を図る。
	希望する進路を実現するための学力等の育成	生徒の進路希望や学力等の的確な把握と指導	進路希望調査や模試データの有効活用。課外授業、土曜講座の充実	進路希望調査及び模試結果を分析し、個別面談に生かす。課外・土曜講座の内容を充実し、出席率100%を目指す。
		コミュニケーション能力等の育成	小論文指導や面接指導の充実	総合的な学習の時間の活用と、全職員による3年生への小論文・面接の個人指導を実施する。
生徒指導	生徒の自律心と自尊感情の育成	自ら判断し、行動できる生徒の育成	生徒が自ら行動できる環境の整備	生徒が前面に立って自発的に協力して学校行事を運営する取り組みを行う。
		基本的な生活習慣の確立	時間の厳守 挨拶の励行	欠席数を減らす。朝学習に遅刻させない。
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない学校づくり	問題の早期発見と素早い対応	アンケート等の調査により、問題を発見し、早期かつ適切に対応する。
	交通指導の強化	交通マナーの向上	交通講話の実施 二重ロックの推奨	交通安全教育を徹底し、事故0とする。生徒主体の二重ロック点検を実施し、二重ロック100%を目指す。

人権教育の推進	命を大切にする心を育む指導	命を大切にする心を育むプログラムの推進 自分の夢や目標を持たせ、人の役に立つことや尽くす姿勢を身に付けさせる。	指導ユニットに従って、心に響く多様な指導を実施 キャリア教育の充実を図り、自分と他者の役割や価値を尊重する態度を育成	全教科全領域で「生徒の命を大切にする心」を育む指導を実施する。 将来の目標の設定、自分の考えの発表などをおして、目標達成のための具体策を考えさせる。
	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会への積極的な参加	地域で実施される研修会への参加率向上を目指す。 校外研修会への積極的な参加を促す。
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身に付けた生徒の育成	LHR等による人権教育の充実	校内推進委員会による教育内容の検討と指導の工夫、改善に努める。
いじめの防止等	いじめの早期発見	生活アンケートによるいじめの早期発見 担任との面談によるいじめの早期発見	生徒・保護者へ3回（1・2年生）、2回（3年生）のアンケートを実施 アンケート調査後すぐに担任面談 長期休業後等に担任面談	定期的にアンケート調査を実施し、いじめの早期発見に努める。 担任の面談だけでなく、全職員が普段の学校生活の様子を観察し、いじめの早期発見に努める。
	「心のきずなを深める」ための取組	生徒会による「いじめ根絶」宣言	「心のきずなを深める月間」における取組の充実	生徒会で「いじめ根絶標語」等を募集し、学校全体でいじめを防ぐ。
		いじめ問題対策委員会の活性化	いじめ事例解決率100%	職員研修を実施する。 いじめ問題対策マニュアルの徹底を図る。
地域連携(コミュニティ・スクールなど)	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携 生徒による地域貢献	保護者の協力による学校行事の開催 地域行事への協力	体育大会や文化祭、マラソン大会等で保護者からの協力を得て、行事を成功させる。 地域のボランティア活動に積極的に参加する。
	防災型コミュニティ・スクールの円滑な運営	学校運営協議会の活用	<ul style="list-style-type: none"> 避難所対応マニュアルの周知 防災教育方針の策定 八代市との協定書調印 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修等を実施し、対応マニュアルの周知を図る。 学校運営協議会の意見を踏まえ、本校の課題を整理する。 八代市との協定書調印